
筆使いは1日にして成らず

パーソナルコンピュータやワードプロセッサが普及した昨今、巷間ではそれと比例するかのよう筆文字が多用されている。だが、それらの多くは陳腐で見るに耐えないものだ。中でも、書の素人が面白おかしく書いたものは殊^{こと}に醜^{まが}いものが多いような気がする。数千年にも及ぶ書の歴史を踏み躪^{にじ}るような文字が平気で罷^{まが}り通っているのが現状である。これは、書を専門にしている書家にとって甚だ残念な現象であり、腑甲斐無い思いもする。

今ここで、なにげなく「筆文字」という言葉を使っているが、これもおかしなものだ。かつて、文字は筆で書くのが当たり前だったからである。現代では筆で文字を書く行為自体特殊なものになってしまった。現在使われているほとんどの活字やフォントは筆文字をモデルにして作られているが、中には文字の歴史や骨格を踏まえていないものが出現しはじめている。

筆文字には多くの技術が結集され、筆跡には計り知れない多くの情報が含まれている。例えば「一」という線は、起筆・送筆・収筆によって成り立っている。そして、この収筆には筆を打ち下ろすまでの書き手の思いや迷いが振り切られ、形となっている。その時の起筆は書き手の決意であり、打ち下ろされた角度や距離は生き方の角度とも考えられている。いづれにしても筆跡には多くのドラマが宿っている。筆で文字を書くことは難しい。弛まぬ研鑽なくして成就することはない。「筆使いは1日にしてならず」である。

今回、このCD-ROMに納めた文字も、滲み・かすれ等、情報が満載されたものになっているはずである。書き手として、試み次第では面白い利用方法が発見できるものと確信している。

1996年11月

矢島 峰月

書体説明と文字の成り立ちについて

広告、商品パッケージ、映画やテレビのタイトル等、こんにち巷には書が氾濫しています。本業のグラフィックデザイナーの立場からみて、曲芸のような技術のみを追求する書家も見習って欲しい、と思うような秀作中にはありますが、ひいき目に見ても恥ずかしい代物が少なくありません。なぜでしょうか。素人が安易に書いてしまう。デザイナーに書の素養が無いため書家への依頼の仕方が分からない。依頼された書家に用途に応じたものを書くセンスが無い。などの理由が考えられます。イメージも大切ですが書の歴史的蓄積も無視してはなりません。矢島峰月先生が1万数千字の揮毫を快諾したのは書家としての責任感からです。毛筆書鑑「象」は混沌とした商用カリグラフィーの基準になるものだと思います。漢字文化圏の遺産を大切にしましょう。

書体の説明

甲骨文、金文、篆書、隷書、木簡、行書、その他の多用な書体を搭載しました。以下に書体の説明をします。
[甲骨文 神の文字] 1899年に発見された現存する中国最古の文字で、紀元前1400年から紀元前1100年頃までのものが発見されています。線は細く鋭く、文字形は直線的で、内容は、祖先の祭礼、狩猟、農作の豊凶などを神に問い、その占いの結果を牛の肩胛骨や亀の甲に彫ったものです。

[金文 神の文字] その名のとおり、青銅器などの金属に鑄込まれた文字で、時代は一般的に紀元前1000年から紀元前700年位のを指します。線は膨らみがあり、文字形は曲線的で、その内容からは神とともに生きていた当時の人間のくらしがわかる、考古学、民族学の立場からも貴重な資料です。

[篆書 天子の文字] 大きな意味では金文も篆書に含まれるのですが、ここでは秦の始皇帝 (B.C.221 B.C.210)

が統一させたといわれる字体を用いました。この字体を篆書の中でも特に小篆といえます。国家の統一には文字の統一が必要不可欠だったのです。字体の統一以前は同じ文字でも多数の字体が使われていました。

[隷書 政治の文字] 秦 (B.C.221 B.C.206) 時代に作られた書体ですが正書 (正式書体) ではなく、兵隊が使う隷属の文字であったといわれています。紀元前2世紀頃には正書として使われるようになりました。この頃のものには形が直線的で、古隷といわれています。紀元前1世紀になると波磔 (波を打つような右払い) を加えた運筆のリズムを生かしたものが現れました。これを八分といえます。毛筆書鑑「象」では西暦150年代の八分書を用いました。

[木簡 日常の文字] 貴重な紙の代わりに巾1~1.5cmの木板に文字を書き、それを紐で編んで巻物にしたものです。同じように竹で作った物を竹簡といえます。いわゆる正書が金属に鑄込まれたり、石に彫られたものにくらべ、木簡や竹簡は肉筆の資料として貴重なものです。木簡はそれぞれの時代のものが発見されていますが、毛筆書鑑「象」では漢代の文字を用いました。いま最も使ってみたい書体のひとつです。

[行書 日常の文字] 正書をつづけ書きした書体です。行書よりももっとくずしたものを草書といえます。正書は篆書 (天子の文字) 隷書 (政治の文字) 楷書 (官吏の文字) の三つですから、楷書をつづけ書きした行書ばかりでなく、隷書を早書きした行書や草書もあります。もしかしたら古隷は篆書の行書、木簡は八分書の行書だったのかもしれませんが。毛筆書鑑「象」では楷書をつづけ書きしたものを用いました。

[その他] 隷書から楷書への移行期の文字、現代的な文字など上の6書体に入らない色々な書体を納めました。書体は統一されていませんので単体でお使いください。

白川 静先生の文字学

紀元100年ごろ、許慎という人が古代文字を解読し『説文解字』という本を著しました。この『説文解字』は以来1900年近く文字学の聖典として扱われてきました。現在も多くの漢和辞典の「文字の成り立ち」はほぼ『説文解字』の丸写しですし、部首の分類もほぼ『説文解字』のままです。しかし、当時は資料も少なかったため、実は誤りがかなりあるのです。白川静先生は考古学、民族学の見地から膨大な資料にあたり、たった一代で1900年間の誤りを正した文字学の巨人です。例えばある漢和辞典で「名」という字を調べると「夕 (三日月) と口の会意字。薄暗い闇の中で自分の存在を声で告げること」とありますが、白川氏によると、「夕は犠牲として捧げられた祭肉の形、口はサイと呼ばれる祝祷を入れる器の形で、名とは子が生まれて3ヵ月後に家廟で神に告げる儀礼である」とあります。また、私は子どもの頃から「右」という字に口があるのは何故なのだろうと疑問に思っていたのですが、白川氏の説を読んでやっと納得することができました。「右」という字は右手で祝祷を入れる器をもっている形だったので、このとき、左手には工という呪具をもっているのだそうです。私は白川先生の偉業をたくさんの人に知らせたくて、このCD-ROMに抜粋し紹介いたしました。

CD-ROMに表示される「文字の成り立ち」は、『字統』(白川静著・平凡社) に依りました。

文字の分類は主に『漢字類編』(白川静監修・小林博編・木耳社) を参考にしました。

甲骨文、金文などの古代文字は現代よりも文字数が少ないため、欠字がありますが、学術的な側面を考慮し、あえて作字はしませんでした。ただし、篆書以降の欠字は作字をしました。楷書体、草書体は素材としての使用頻度が低いと考え、割愛しました。楷書体はATMフォントでの開発を検討しています。

大熊 肇

CD-ROMの使用方法

毛筆書鑑「象」は Macintosh と Windows の両環境でご利用いただける書体辞典・ロイヤリティフリー素材集です。各種ファイル形式のデータがディスクA、ディスクBの2枚のディスクに収録されています。下記のファイル形式を扱えるアプリケーション上でご使用ください。

50音検索
呼び出したい文字の音読み又は訓読みの1音目をクリックすると、その漢字選択に漢字が表示される。

漢字選択
漢字を選びクリックすると、その種類別表示に表示される。

文字の成り立ち

終了

種類別表示
種類別表示の中の文字をクリックすると、そのプレビューに表示される。

コピーサイズ切り替え
LかMをクリックすると切り替わる。
(Windowsでは、ディスクAはLサイズのみ、ディスクBはMサイズのみ収録)

クレジット表示
クリックすると、書家や製作スタッフのクレジットを表示。

コピー
そのプレビューに表示されている文字のみコピーされる。任意の場所へコピーする。

プレビュー
ダブルクリックするとフル画面表示される。

戻る / 送る
クリックすると、そのプレビュー中の文字が順番に変わる。

オートボタン
クリックすると、そのプレビュー中の文字が順番に変わる。

ストック
その種類別表示の文字を、マックは OPTION を、ウィンドウズは ALT 又は GRPH を押しながらドラッグして置く。更に、ストックされた文字をダブルクリックすると、そのプレビューがその文字の種類に変わる。

効果音のオン・オフ










ヘルプ画面表示
クリックするとヘルプ画面が表示される。ヘルプ画面の一部をクリックすると元の画面に戻る。

Macintosh コピー可能データ			
Lサイズ	JPEG 2000 × 2000 ~ 3200 × 3500ppi (350dpi)	ディスクA	
Mサイズ	PICT 640 × 480ppi (72dpi)	ディスクA	
Windows コピー可能データ			
Lサイズ	JPEG 2000 × 2000 ~ 3200 × 3500ppi (350dpi)	ディスクA	
Mサイズ	BMP 640 × 480ppi (72dpi)	ディスクB	

(Lサイズは文字によってサイズが異なります)






【付録】矢島峰月愛用印（吉語印）

矢島峰月愛用印、サインは「DATA」フォルダ内の「RAKKAN」というフォルダに入っています。ドラッグコピーしてお使いください。

 <p>億年無疆 kichigo1</p>	 <p>子 kichigo4</p>	 <p>精進無涯 kichigo6</p>	 <p>多習 kichigo8</p>	 <p>長樂 kichigo9</p>
 <p>座華醉月 kichigo3</p>	 <p>駿鷹 kichigo2</p>	 <p>千秋萬歲 kichigo7</p>		
 <p>尚志 kichigo5</p>				

【付録】矢島峰月愛用印（姓名印）

（雅号印）

 <p>初 seimei1.PIC</p>	 <p>初世 seimei4.PIC</p>	 <p>峰月 hohget4.PIC</p>	 <p>峰 hoh01.PIC</p>	 <p>峰月之印 hohgetu0.PIC</p>		
 <p>初 seimei2.PIC</p>	 <p>初世 seimei5.PIC</p>	 <p>無秩序齋主 ansyu.PIC</p>	 <p>峰 hoh02.PIC</p>			 <p>峰月 hohgetu1.PIC</p>  <p>峰月 hohgetu3.PIC</p>
 <p>初 seimei7.PIC 初世 seimei6.PIC 初世 1seimei3.PIC</p>			 <p>峰月 hohgetu6.PIC</p>			
 <p>矢島初世 seimei9.PIC</p>	 <p>初世之印 seimei8.PIC</p>			 <p>峰月 hohgetu5.PIC 峰 hoh03.PIC 峰 hoh04.PIC 峰月 hohgetu2.PIC</p>		

【付録】矢島峰月のサイン

落款の入れ方

書が完成すると、そのしるしに署名捺印をします。それを落成款識(らくせいかんし)略して落款(らくかん)といいます。印には姓名や雅号を刻した落款印のほか好きな言葉を刻して好きなところに捺す押脚印(遊印)、作品の右上に捺す引首印(関防印)があります。また、文字を彫った陰刻(白文)と文字を残して彫った陽刻(朱文)があります。



署名

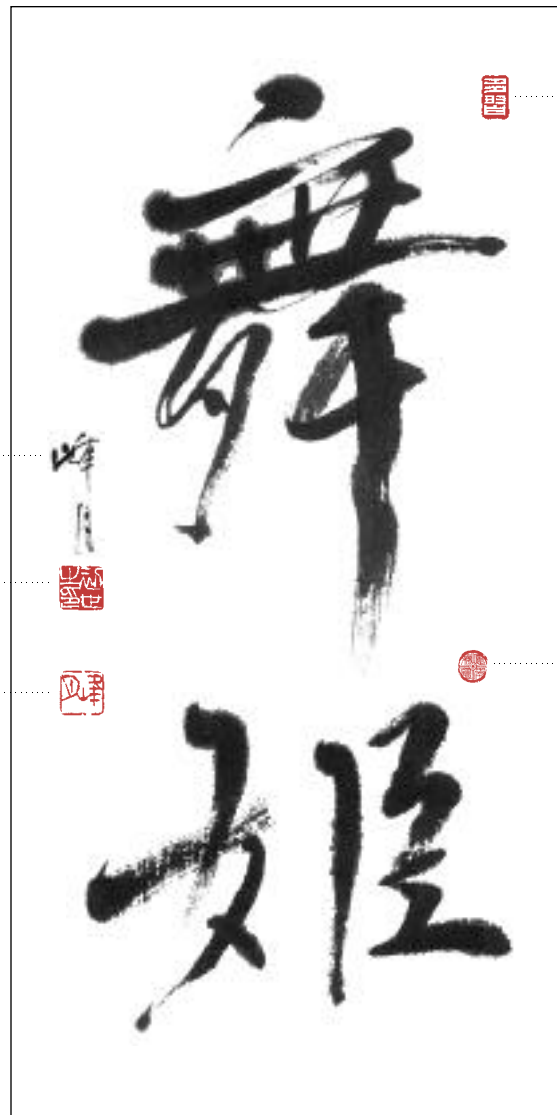
通常、作品よりもややくずした書体で書く。省略することもある。

姓名印(白文)

雅号印(朱文)

落款印を2顆捺す場合は、上の印を署名に近づけて捺し、下の印は印の直径の1.5倍程度離して捺す。通常、上の印は白文の姓名印、下の印は朱文の雅号印にする。1顆だけ捺す場合は姓名・雅号、白文・朱文のきまりはない。また原則として姓名印には姓名、あるいは名のみを刻し、姓のみを刻さない。

印は1顆2顆.....あるいは1方2方.....と数える。



引首印(関防印)

ここから作品がはじまるという意味。省略してもかまわない。



押脚印(遊印)

「ここに印があると作品のバランスが良くなる」というときに捺す。

いろいろな印刷物で楷書や行書のフォントを、文字どうしが食い込むほど詰め打ちしたものをよく見かけますが、肉筆に近い書体には間が必要です。活字風な表現をすれば、ベタ打ちよりもさらに字間を空ける位の方がよいと思います。

音読索引

音読・漢字・画像番号の順になっています。

*197番の「眠」は都合により、第貳巻人体の文字に収録しました。

イ	偉	1	キ	企	25	ケン	憲	49	シ	姉	78	シヨク	職	107	タイ	体	136	ハイ	敗	165	ミ	味	194
イ	威	2	キ	危	26	ケン	見	50	シ	姿	79	シヨク	色	108	タイ	耐	137	ハイ	白	166	ミ	魅	195
イク	育	3	キ	奇	27	ケン	賢	51	シ	子	80	シン	伸	109	ダイ	大	138	ハツ	髪	167	ミン	民	196
イン	印	4	キ	季	28	ゲン	元	52	シ	屍	81	シン	信	110	ダイ	題	139	ヒ	妃	168	ミン	眠*	197
イン	飲	5	キ	鬼	29	コ	呼	53	シ	視	82	シン	唇	111	ダン	段	140	ビ	備	169	ム	夢	198
エン	宴	6	キ	姫	30	コ	姑	54	シ	齒	83	シン	侵	112	チョウ	彫	141	ビ	尾	170	ム	無	199
エン	艶	7	キ	疑	31	コ	孤	55	ジ	侍	84	シン	真	113	チョウ	聴	142	ビ	微	171	メン	面	200
オウ	殴	8	キ	奇	27	コ	故	56	ジ	字	85	シン	臣	114	チョウ	長	143	ビ	眉	172	モウ	毛	201
カ	化	10	キ	季	28	コ	娘	57	ジ	爾	86	シン	親	115	チョク	直	144	ビ	鼻	173	モウ	盲	202
カ	何	11	キ	鬼	29	ゴ	呉	58	ジ	而	87	シン	身	116	テイ	低	145	ビ	媚	174	モク	目	203
カ	嫁	12	キ	姫	30	ゴ	娛	59	ジ	耳	88	ジン	人	117	テキ	敵	146	ヒヤク	百	175	ヤク	役	204
カ	歌	13	ギ	疑	31	コウ	交	60	ジ	自	89	ジン	仁	118	テキ	的	147	フ	夫	176	ユウ	優	205
カイ	改	14	キ	久	32	コウ	侯	61	シツ	失	90	スイ	吹	119	テツ	姪	148	ブ	舞	177	ユウ	遊	206
カイ	届	15	キ	休	33	コウ	口	62	シヤク	尺	91	スウ	数	120	テン	天	149	ブツ	仏	178	ユウ	游	207
カク	殻	16	キ	吸	34	コウ	好	63	ジャク	若	92	セイ	姓	121	デン	伝	150	ブン	文	179	ヨウ	孕	208
カク	覚	17	キ	供	35	コウ	孔	64	シュ	首	93	セイ	聖	122	デン	殿	151	ブン	聞	180	ヨク	欲	209
ガク	学	18	キ	凶	36	コウ	攻	65	ジュ	寿	94	セイ	声	123	ト	吐	152	ヘイ	並	181	ライ	来	210
ガク	額	19	キ	叫	37	コウ	考	66	シュウ	修	95	セキ	赤	124	ド	奴	153	ヘン	変	182	リツ	立	211
カン	歡	20	キ	教	38	コウ	尻	67	シュウ	臭	96	ゼツ	舌	125	トウ	頭	154	ホ	保	183	リュウ	流	212
カン	観	21	キ	胸	39	コン	今	68	ジュウ	住	97	セン	先	126	ドウ	働	155	ボ	母	184	リョ	旅	213
ガン	顔	22	ギ	仰	40	コン	婚	69	シュン	瞬	98	セン	泉	127	ドウ	童	156	ハウ	包	185	リョウ	了	214
ガン	願	23	キ	局	41	コン	魂	70	ジョ	女	99	ソウ	僧	128	ドク	毒	157	ハウ	放	186	リョウ	領	215
ガン	眼	24	ク	句	42	サイ	妻	71	ジョ	汝	100	ソウ	爽	129	ニ	尼	158	ハウ	方	187	リン	倫	216
			ケイ	契	43	サイ	彩	72	ショウ	傷	101	ソウ	相	130	ニウ	乳	159	ボウ	亡	188	リン	臨	217
			ゲイ	迎	44	サク	作	73	ショウ	妾	102	ゾウ	像	131	ニョ	如	160	ボク	僕	189	ルイ	類	218
			ケツ	傑	45	サツ	殺	74	ショウ	妾	102	ソク	息	132	ノウ	惱	161	ボク	睦	190	レイ	令	219
			ケツ	頁	46	サン	参	75	ショウ	笑	104	ゾク	族	133	ノウ	脳	162	マ	魔	191	レイ	齡	220
			ケン	健	47	シ	使	76	ジョウ	嬢	105	ソン	孫	134	バ	婆	163	マイ	妹	192	ロウ	楼	221
			ケン	堅	48	シ	司	77	ジョウ	條	106	タ	太	135	ハイ	俳	164	マイ	每	193	ロウ	老	222